

# CASBEE® 名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 評価マニュアル(2019年版、住宅用) ■使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

| 1-1 建物概要 |                      | 1-2 外観 |                 |
|----------|----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称     | (仮称)サムティ名古屋市瑞穂区塩入町   | 階数     | 地上 9F           |
| 建設地      | 名古屋市瑞穂区塩入町703番       | 構造     | RC造             |
| 用途地域     | 準工業・準防火              | 平均居住人員 | 64 人            |
| 地域区分     | 6地域                  | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途     | 集合住宅                 | 評価の段階  | 基本設計段階評価        |
| 竣工年      | 2023年12月 予定          | 評価の実施日 | 2022年8月17日      |
| 敷地面積     | 794 m <sup>2</sup>   | 作成者    |                 |
| 建築面積     | 269 m <sup>2</sup>   | 確認日    | 2022年8月17日      |
| 延床面積     | 2,081 m <sup>2</sup> | 確認者    |                 |

外観/パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**= BEE0.7** ★★★★★

☆: S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

**LR のスコア = 2.8**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.6

| 3 設計上の配慮事項                                |                                  |                                       |
|---|----------------------------------|---------------------------------------|
| 総合<br>住宅供給を長期に渡り供給することを第一に考えた。            |                                  | その他                                   |
| Q1 室内環境<br>T-2性能のアルミサッシの採用による室内環境のUPに努めた。 | Q2 サービス性能<br>インターネットを光対応による高速通信。 | Q3 室外環境(敷地内)<br>周辺環境に合わせた外観計画とした。     |
| LR1 エネルギー<br>一次エネルギー消費率 99%               | LR2 資源・マテリアル<br>F☆☆☆☆の材料の使用に努めた。 | LR3 敷地外環境<br>建物利用者に対し適切な駐輪台数の確保を行なった。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

## 重点項目スコア・結果シート

(仮称)サムティ名古屋市瑞穂区塩入町

- 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
- 評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

| 重点項目            |                 | 評価  | 全体に対する重み係数 | 重点項目スコア    |
|-----------------|-----------------|-----|------------|------------|
| <b>1. 温暖化対策</b> |                 |     |            | <b>2.8</b> |
| LR1             | エネルギー           | 3.0 | 0.4        |            |
| LR3.1           | 地球温暖化への配慮       | 3.0 | 0.1        |            |
| LR3.2.2         | 温熱環境悪化の改善       | 1.0 | 0.05       |            |
| <b>2. 自然共生</b>  |                 |     |            | <b>1.3</b> |
| Q3.1            | 生物環境の保全と創出      | 1.0 | 0.09       |            |
| Q3.3.1          | 地域性への配慮、快適性の向上  | 無   | 0.009      |            |
| Q3.2            | まちなみ・景観への配慮     |     |            |            |
| Q3.3.2          | 敷地内温熱環境の向上      | 2.0 | 0.045      |            |
| <b>3. 循環型社会</b> |                 |     |            | <b>2.9</b> |
| LR2.1           | 水資源保護           | 3.0 | 0.06       |            |
| LR2.2           | 非再生性資源の使用量削減    | 2.8 | 0.18       |            |
| LR3.2.3         | 地域インフラへの負荷抑制 ※2 | 3.0 | 0.01875    |            |

## 結果

|                 |           |
|-----------------|-----------|
| <b>1. 温暖化対策</b> | 評価点 = 2.8 |
|                 |           |
| <b>2. 自然共生</b>  | 評価点 = 1.3 |
|                 |           |
| <b>3. 循環型社会</b> | 評価点 = 2.9 |
|                 |           |

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0.2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。